

NEWS LETTER

一般社団法人 日本看護研究学会 近畿・北陸地方会

2015年11月25日発行

第19号の内容

新2015年度活動指針
《運営見直しの推進》

患者が見える実践家の育成
(第29回学術集会案内)
学術集会長 櫻庭 繁

ニュースレター発信方法変更
Web&Mail版に変更します!

第21回 地方会看護研究継続セミナー報告 上野 栄一
第22回 継続セミナー案内

第28回学術集会を終えて
学術集会長 加藤真由美

近畿・北陸地方会2015年度活動指針 (代表世話人:江川隆子)
(2015年度評議員・世話人会(2015/8/22) 概要報告として18号にも掲載)
現在、近畿・北陸地方会会員数は約1500名で、他の学会では全国規模レベル数に達しています。地方会は開設から30年が経過しました。時代・社会の状況を鑑み、地方会が果たす役割を再確認し、地方会運営の見直しを図ります。具体的な取り組みとして、

- ①スリムで効率の良い運営方法へ転換を目指す。
⇒事務局担当者の負担を整理し、担当者負担の軽減を図る。
⇒会費活用項目を見直し、**時代に応じた効果的な費用分配**を行う。
- ②活動内容情報の共有を強化し、運営の透明化を図る。
⇒本学会と地方会の役割を確認し、地方会会則を実情に応じた内容で表現する。
⇒地方会活動の特徴を見出し、地方会運営にかかる世話人の役割分担を明確にする。
⇒運営内容に応じて補助金や会費を活用し、活動の詳細情報を会員に報告する。

第29回近畿・北陸地方会学術集会 開催 於:2016年3月5日(土)京都光華女子大学

テーマ:「患者が見える実践家の育成」 会長: 櫻庭 繁 (文責: 山下舞琴)

この度、第29回近畿・北陸地方会学術集會を、京都光華女子大学にて、開催することとなりました。
会長講演「精神科の臨床から見た自立した看護師とは」
(櫻庭繁氏, 京都光華女子大学)をはじめ、
教育講演では「政府におけるヘルス産業政策の動向
～地域包括ケアシステム等との連携～」
(藤岡雅美氏, 経済産業省ヘルスケア産業課),
シンポジウムでは「**患者が見える実践家からの提言**」と題し、
山口曜子氏(京都光華女子大学), 竹田寿里氏(京都大学医学部附属病院)
堀井とよみ氏(京都看護大学)にお話を頂きます。
交流集會や一般演題も予定されています。
企画委員として、心を込めて準備を進めています。
ぜひ、多くの発表およびご参加を心よりお待ちしております。



演題登録期間:2015年10月1日(木)~12月11日(金)12時まで

事前参加登録募集中 <http://www.jsnr.jp/district/kinki-hokuriku/meeting/>

ニュースレターは2015年度から(Mail&Web)版となっています。18号(Web1号)をご覧になりましたか

| 発行年度 | 数 | 発行時期(方法) |
|------|----|------------------------------------|
| 2014 | 2回 | 6月(郵送), 11月(郵送) |
| 2015 | 2回 | 9月(Web&e-Mail), 11月(郵送&Web&e-Mail) |
| 2016 | 3回 | 6月, 9月, 11月(全てWeb&e-Mail) |

□ 郵送による紙面とWeb画面のメリットとデメリット

| 種類 | メリット | デメリット |
|-------|------------------------------|---------------------|
| 郵送紙面 | 紙面全体が目飛び込み、知らなかった内容を知ることが出来る | 制作時間に時間を要し印刷費用がかかる。 |
| Web画面 | 制作時間の短縮と費用の削減が出来る | 知りたい情報にだけアクセスする |

デメリットを理解し、強みを生かした紙面づくりを目指します。忌憚のないご意見をお寄せ下さい。

E-mailメールアドレス登録にご協力をお願いします。**学会情報の配信は全てMail配信に移行**します!!!
メールアドレス登録方法ならびに登録内容は学会事務局ホームページをご確認ください。

※現在、E-mailメールアドレス登録が完了されている方は850名程度です。**登録内容を確認してください!!**

※ E-mailメールアドレス登録が無いと学会情報が届かなくなります

確認→登録or修正の手続きは、本部ホームページ「会員情報管理システム」にアクセスをお願いします。



第21回看護研究継続セミナー報告

セミナー委員長 上野栄一(福井大学医学部看護学科)

於:2015年10月24日(土)福井大学医学部附属病院

第21回継続セミナーの第1部は講演で、講演1「量的研究からみた手洗い効果の検証」山本恭子先生(園田学園女子大学)からは、手洗い効果の検証についてアウトカム評価をどうするかといったお話がありました。統計解析のお話も交えながらのお話でした。また、沖縄での家族の研究(海がめ)の紹介も交えたとてもアットホームな講演でした。講演2「質的研究からみたEBN」増田安代先生(藍野大学看護学科)からは、テキストマイニングの世界をとても明快に解説していただきました。可視化の大切さを猫の入ったスライドとともに紹介され癒される講演でした。質的研究をいかに形式知とするかとても興味深い研究紹介でした。講演3「EBNに基づいた術後せん妄看護」松浦純平先生(近大姫路大学看護学部)からは、国際論文にも発表された研究も紹介しながら、せん妄の新しい科学的知見を紹介していただきました。講演4「研究事例から科学的なアセスメントから」藤本ひとみ先生(福井医療短期大学看護学科)からは、ケアリングを用いながら看護研究の科学的なアセスメントの大切さを教えていただきました。

第2部のグループワークでは、3つのグループに分かれて研究の紹介やこれからの研究の進め方について話し合いました。とても活発に意見交換ができました。

関西からコーディネーターの先生方にご協力いただき、参加者からは、とても有用な情報を得た。アドバイスを身近にいただき、これからの研究に役立つとの感想がありました。そういえば、増田先生も藤本先生も、とても猫が好きなのですね。スライドの随所に猫が描かれ、癒されました。参加者からは、ご高名な研究者と身近にお話ができ嬉しかったと感想もいただいております。



第22回 看護研究継続セミナー案内

日時: 2015年12月19日(土) 13時30分~17時

開催場所: 園田学園女子大学

【第1部】講演1「臨床現場で抱く疑問を研究してみよう」

講師: 沖原由美子先生(聖隷淡路病院 総看護部長)

講演2「看護研究に使える! 知っておきたい統計豆知識」

講師: 古川秀敏先生(関西看護医療大学)

【第2部】グループワーク

申込受付中: 12月4日(金)まで
応募方法はHPをご確認ください

対象者: 会員(新規入会も対応)

<http://www.jsnr.jp/district/kinki-hokuriku/seminar/22poster.pdf>

第28回近畿・北陸地方会学術集会を終えて

第28回学術集会長 加藤真由美(金沢大学医薬保健研究域保健学系看護科学領域)

於:2015年3月7日(土)金沢大学

第28回近畿・北陸地方会学術集会では、多くの会員の皆様に日頃の研究成果をご発表いただき、また多くの方々にご参加をいただき、活気のある交流ができたのではないかと、会長としては感謝する思いと共に安堵感をもっております。

全ての看護研究は、最終的には「一人の大切な人への看護」に還元されるものであり、「一人の大切な人への看護」は私たち看護師が永遠に挑戦し続ける課題であると思っています。私の専門は老年リハビリテーション看護です。リハビリテーション看護において、看護師が患者のセルフケア不足を補うだけの消極的看護ではなく、患者の生活動作自立を支援するためのケアの考え方(function-focused care, FFC: Resnick B. et al, 2012)が注目されており、その効果が検証されています(Burket TL, 2013)。FFCの考え方とは、認知症で失禁するからと床上排泄を選択するのではなく、患者を励まし、トイレまで一緒に行くことをケアとすることです。このように、看護研究は患者を人としての尊厳をもたらす、素晴らしい活動であり、会員の皆様にはますます探求していただきたいと期待しております。



会員情報登録および変更方法: ご自身による登録と修正手続きが必要となります。(登録状況を確認してください)
※登録および変更は、**学会本部ホームページ**(<http://www.jsnr.jp/>)から「**会員情報管理システム**」にアクセス

一般社団法人 日本看護研究学会 近畿・北陸地方会事務局

関西看護医療大学看護学部看護学科

〒656-2131 兵庫県淡路市志筑1456-4

【庶務担当】

下舞紀美代 TEL/FAX: 0799-60-1230

E-mail: k.shimomai@kki.ac.jp

【会計担当】

古川秀敏 TEL: 0799-60-1200 (代表)

E-mail: h.furukawa@kki.ac.jp

会員の皆さまに学会情報をお伝えすることを目的として、ニュースレターをお届けしております。2015年度活動方針を受け、18号から発行方法が変わりました。紙面での発行は今号で最終となりました。次回の20号からはWeb&e-Mailで多様な情報をお伝えしていきたいと思っております。
ニュースレター担当: 西園貞子, 坪田恵子